

基地対策特別委員会行政視察概要

1 視察月日 令和4年7月19日（火）～7月20日（水）

2 視察先及び視察事項

（1）自衛隊沖縄地方協力本部石垣出張所（沖縄県石垣市）
陸上自衛隊警備隊とミサイル部隊の配備について

（2）沖縄県石垣市
尖閣諸島を取り巻く安全保障環境等について

3 視察委員

委員長 伏見 幸枝

副委員長 福地 茂

同 渋谷 健

同 瀬之間 康浩

同 高橋 のりみ

視察概要

1 視察先

自衛隊沖縄地方協力本部石垣出張所（沖縄県石垣市）

2 視察月日

7月19日（火）

3 対応者（役職名）

所長（受け入れ挨拶）

次長（説明）

4 視察内容

（1）陸上自衛隊警備隊とミサイル部隊の配備について

ア 陸上自衛隊石垣駐屯地の工事の進捗状況

陸上自衛隊石垣駐屯地は石垣市のゴルフ場跡地に建設されており、建設スケジュールは平成31年度から令和2年度が造成工事、令和3年度から令和4年度が建物工事、令和5年度から運用開始の予定である。本工事は五洋建設、鴻池組などのJVが総工費約368億円で受注している。

また、島の全体と尖閣諸島の方角などが分かる高台にあるバナナ公園から駐屯地建設現場の視察を実施したが、現地の周辺は森に囲まれていた。

イ 配備予定の部隊

石垣島においては、災害派遣を含む各種事態に即応し迅速に初動対応を行う「警備隊」、災害派遣を含む各種事態に即応し、迅速に初動対応を行う「地对空ミサイル部隊」及び島嶼部に侵攻する敵を可能な限り洋上において阻止し得る「地对艦ミサイル部隊」の3つの部隊を配置する予定である。なお、人員の規模としては約570名が配置される予定である。

ウ 質疑概要

Q 工事は計画通り進んでいるのか。また、環境への配慮はされているのか。

A 工事現場で特別天然記念物のカンムリワシの営巣活動があり、令和2年度に3週間ほど工事を停止した。また、工事現場で土を掘り起こす際に地中のミミズなどを捕食することなどが分かり、

専門家の指導を受けながら丁寧に進めてきた。さらに、地中に埋設された大きな岩を現場で粉砕するため、周辺への配慮に時間を要した。

Q 駐屯地の建設や運用開始による地元雇用への経済効果はどれくらいか。

A 出稼ぎや単身赴任の就労者も多く、地域経済に大きく影響している。また、駐屯地が運用開始になれば食堂などの人員は地元で雇用することとなる。

Q 総工費のうち地元企業への発注の割合はどの程度か。

A 総工費約368億円の内、86億円が地元企業に直接発注である。また、下請け企業などは当然地元企業が多い。

Q 装備するミサイルの格納先はどこか。

A ミサイルが収納されているコンテナを火薬庫に格納している。

Q 装備するミサイルは国産なのか。

A ミサイルは三菱重工株式会社製で国産である。また、車両も国産である。

(2) 委員所見

説明、質疑及び現地視察から、周辺環境への配慮を十分に行っており、令和5年度から運用開始に向けて慎重に工事が進捗していることが分かった。



(事務所にて説明聴取)



(ハンナ公園から現地を視察)



(工事現場にて)

視察概要

1 視察先

沖縄県石垣市

2 視察月日

7月20日（水）

3 対応者

市議会議長（受け入れ挨拶）

企画部企画政策課長（受け入れ挨拶）

企画部企画政策課企画係長（説明）

4 視察内容

（1）尖閣諸島を取り巻く安全保障環境等について

ア 尖閣諸島

明治28年1月14日に尖閣諸島を我が国固有の領土として編入することを閣議決定したため、1月14日を尖閣諸島開拓の日とする条例が平成22年12月に制定された。また、尖閣諸島の字名を「石垣市字登野城」から「石垣市字登野城尖閣」に変更したことを受けて、新たな行政標柱を製作し設置した。

イ 小中学生向けの副教材「たんけん！尖閣諸島」

多くの方が石垣市の宝である尖閣諸島への理解を深めるため、小中学生向けの副教材として「たんけん！尖閣諸島」を作成し、普及に努めている。

ウ 質疑概要

Q 尖閣諸島へ上陸ができないことによる影響はあるか。

A 尖閣諸島に石碑を設置したいが、国有化以降、上陸が困難となっており、できていない。なお、国は市へ実効支配ができていと説明している。

Q 副教材の配布先は市内学校だけか。沖縄県内の学校、あるいは日本国全域に範囲を広げるべきではないか。

A 現時点で沖縄全域には普及していない。是非議員の皆様にも啓発をお願いしたい。

(2) 委員所見

国から尖閣諸島への上陸許可が得られず、行政標柱の設置などの当然の行為ができていないことについて、石垣市は苦しんでいる。

石垣市としては尖閣諸島開拓の日を制定し毎年記念式典を実施するなどの努力が見られていることから、今後、国、県及び市が一体となって政治的に連携し、国として尖閣諸島への実効支配を表す行動に取り組む必要性を痛感した。



(市役所内会議室にて説明聴取)



(新しい議場を見学)